

担保物権法〔第4版〕

道垣内弘人

2017年6月発売／410頁／本体3200円＋税



編集
担当者
から

担保物権法を学ぶ上で外せない基本書中の基本書が本書です。第3版の刊行が2008年1月。9年半の歳月を経て、今回の改訂に至りました。

基本的な構成はそのままに、この間の新たな学説・文献・判例等をフォローしています。また、債権法改正に対応していることも大きな特長です（刊行が改正法の成立と前後してしまったため、書内では「改正案」として引かれています。すべて改正済みの新法と読み替えてください）。

著者の明晰な思考が全篇を通して貫かれており、その筋道を追っていきさえすれば、担保物権に関する一貫した理解が可能となるはずです。また、初版はしがきに、「実務の需要と方向性を十分に斟酌しながらも……場当たりの解決を示すのではなく、一貫した論理を明らかにしなければならない」と書かれているとおり、学理と実務をバランスさせた筆致は、学生から実務家に至るまで幅広くお読みいただけるものと思います。

複雑難解と言われる担保物権法。しかしその世界は精緻に組み立てられた知の結晶でもあるはずです。ぜひ本書を手がかりに、その世界に挑んでみてはいかがでしょうか。（中野）

Index



紙面を2色刷から単色に変更しましたが、読みやすさに変更はありません。

序 章

第1章 留置権

第1節 序説／第2節 成立要件／第3節 効力／第4節 消滅

第2章 先取特権

第1節 序説／第2節 各種先取特権の趣旨・成立／第3節 効力／第4節 消滅

第3章 質 権

第1節 序説／第2節 動産・不動産質権／第3節 権利質権

第4章 抵当権

第1節 序説／第2節 意義・設定／第3節 効力の及ぶ範囲／
第4節 実行前の効力／第5節 優先弁済権の実現／第6節 消滅／
第7節 根抵当権／第8節 特別法上の抵当権

第5章 権利移転予約型担保＝仮登記担保

第1節 序説／第2節 仮登記担保

第6章 権利移転型担保＝譲渡担保

第1節 序説／第2節 不動産・個別動産の譲渡担保／第3節 流動動産の譲渡担保／
第4節 債権その他の権利の譲渡担保

第7章 所有権留保

第1節 序説／第2節 成立・効力

* 小社HPにて正誤表を公開しています。